

# “優しく、強く、愛しい人”の育成

～ 全国学力・学習状況調査 2023 の結果から ～

本年 4 月 18 日に 3 年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が発表され、全国や静岡県の結果が新聞等に掲載されました。  
焼津市の調査結果の概要をお知らせします。

## ■■ 国語・数学・英語の学習について ■■

### 生活につながる『話すこと・聞くこと』の力が身に付いています【国語】

国語は、『話すこと・聞くこと』領域における「目的に応じた質問内容の検討」や「情報と情報との関係（意見と根拠）」の問題が高い正答率でした。このような力は、実生活でも、他者とのコミュニケーションの場面で役立ちます。今後も実生活につながるような力の育成を意識して授業を行っていきます。

『知識・技能』の「我が国の言語文化に関する事項（古典）」で、課題が見られました。古典に対して親しみをもてるような授業を展開しつつ、基本的な文語のきまりや現代語訳の確実な定着を図るために粘り強く指導をしていきます。

また、問題形式では「記述式」に課題が見られました。日ごろから「自分の考えをつくる」→「書く」ことを意識した授業を行っていきます。

家庭では、「自分の考えをつくり表現する」ための語彙力、表現力のもととなる「読書」をさらに勧めていただきたいと思います。焼津市では、全国より高い比率で「読書が好きである」と回答しています。さらに読書に親しむことで、国語の力も伸びていくと考えます。

### 『数と式』領域…基礎的・基本的な力が身に付いています【数学】

数学は、『数と式』領域における「数と整式の乗法計算の問題」や、「具体的な問題場面における考察の対象を明確に捉える問題」が高い正答率でした。また、『図形』の領域で「思考・判断・表現」の観点から出題された「ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する問題」も、高い正答率でした。

一方、『関数』では、「比例定数が示された反比例の関係における  $x$  と  $y$  の値について、正しい記述を選ぶ問題」で、課題が見られました。授業では、反比例だけでなく、比例や一次関数など様々な関数を比較しながら、それぞれの対応表、式、グラフの特徴をつかみ、より深い理解に結びつくよう学習を工夫していきます。

また、焼津市では、「数学の授業は大切だと思いますか？」の問いに、多くの生徒が肯定的に答えています。この意識を、「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」ことへつなげていきたいと思います。

### 「英語の勉強が好き」な生徒が育っています【英語】

英語では、「読むこと」において、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読む問題が、高い正答率でした。

情報を正確に読み取るために、日頃から授業で、単に語彙の意味や文法事項の形式が分か

ったり、英語を日本語に訳すことができたりするだけでなく、書かれている英文に含まれている情報を、事実や考え、気持ちなどに区別しながら読み進める学習活動に取り組んでいる成果であると考えます。

しかし、「聞くこと」について、課題が見られました。情報を正確に聞き取るために、音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けられるよう、授業をさらに工夫していきます。また、今後学習者用デジタル教科書などの活用も進めていきます。

本市の生徒は「英語が好きですか」という問いに対して、県、全国よりも高い割合で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えています。今後も、生徒が学びを楽しみながら、英語の学力を高めていけるような授業を目指していきます。

※ お子様に学力調査問題等を配付しましたのでご確認ください。

## □□ 家庭・学校・地域…安定した生活の様子がうかがえます □□

### 1 家庭生活

家庭での基本的な生活は、「朝食を毎朝食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」が90%を超え、良好な結果でした。また、「人が困っているときは、進んで助ける」も約90%と、適切な判断をしようとする様子がうかがえました。

家庭学習については、「家で自分で計画を立てて勉強している」が約50%、「平日1日の家庭学習が2時間以上」が約32%、「読書を1時間以上」が約13%で、3項目ともに全国平均をやや下回る結果でした。ご家庭においても、お子さんが、時間の使い方に関して自分自身で考え、判断し、実行するなど、自立していくための手立てが大切です。

### 2 学校生活・授業

学校生活については、「学校に行くのが楽しい」が約80%「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」が約87%と、安定した気持ちで学校生活を送っている様子がうかがえます。また、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」は約65%という結果でした。今後も、教職員が生徒一人一人を大切にされた声かけや支援に努めてまいります。

これらは、各学校における教職員の日々の生徒への指導だけでなく、保護者の皆さんが学校生活を肯定的に捉えて、お子さんに接していることが、結果に結びついていると言えます。家庭と学校の協力が、生徒たちの安定した日々の生活に結びつきます。

授業における特徴的な表れとしては、「PC・タブレットなどのICT機器」について「毎日使用する」が全国と比べ+6.2ポイント(P)、「週1回以上使用する」が全国と比べ+17.0Pとたいへん高い結果でした。焼津市の学校では、GIGAスクールの推進が着実に図られています。

### 3 社会（地域）生活

「地域の行事に参加している」は、全国と比べて+7.1Pとたいへん高い結果でした。これは、毎年、小中共に同様の結果であり、焼津の子供たちは地域との結びつきが強いことが分かります。ただし、ここ3年間は例年より低く、コロナ禍の影響が表れています。

お子さんにとって、家庭や学校という限られた場だけでなく、より多くの人とふれ合い、様々な考え方を吸収することは、成長する上でとても大切です。地域の方々から積極的に学ぶ姿勢が、お子さんの成長を促進します。

## □■□ 確かな学力を身に付けるために必要なことは… □■□

### 1 基本的な生活習慣（自分でできる）

「朝食を毎朝食べる」、「毎日同じくらいの時間に寝たり、起きたりする」など基本的な生活習慣が身に付いている生徒は、学習内容がきちんと定着しています。

右表「①毎日同じくらいの時間に寝ている」の質問に「当てはまる」と回答した生徒の数学の正答率は 51.8%で、「当てはまらない」の 38.6%と比べて、13.2P も高いことが分かります。

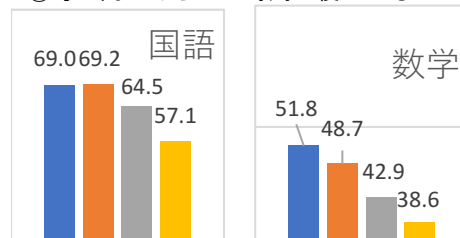
また、「②自分で計画を立てて勉強している」は、「当てはまる」と回答した生徒の国語の正答率は 76.0%で、「当てはまらない」の 59.3%より、16.7P も高い結果でした。

※ 棒グラフは左から順に以下のとおりです

- 当てはまる
- どちらかと言えば当てはまる
- どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない

※ 棒グラフの上の数値は平均正答率です（%）

①毎日同じくらいの時刻に寝ている



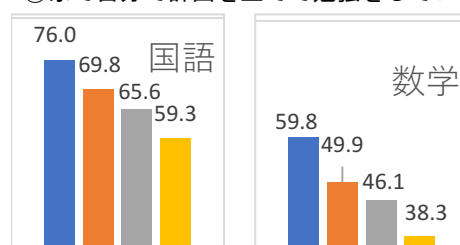
### 2 自ら学ぼうとする気持ち

主体的に学習に取り組もうとする生徒は、学習内容が定着しています。

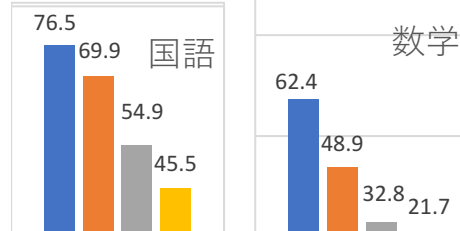
「③授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」では、「当てはまる」と答えた生徒が、「当てはまらない」と答えた生徒に比べ、国語で 31.0P、数学では 40.7P と高く、大きな差があります。

学校では、生徒が自ら解決したくなるような問いや課題を設定し、主体的に取り組める授業づくりを進めています。家庭でもお子さんの「自ら学ぼうとする気持ち」を大切にしたい声かけをお願いします。

②家で自分で計画を立てて勉強をしている



③授業では、課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組んでいた



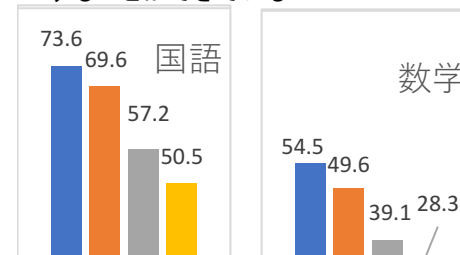
### 3 人の意見を受け入れる受容性

また、「④学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」では、「当てはまる」と「当てはまらない」が、国語で 23.1P の差、数学で 26.2P の差がありました。

人の意見を受け入れる受容性が高い生徒は、学習過程で自分の考えに固執せず柔軟に捉えることができます。それが、人の意見を自分の力に加えることとなり、結果として学力の向上に結びつきます。

そして、このことは、学力の定着にとどまらず、予測困難なこれからの世の中を生きる生徒たちが、多様な他者と協働して問題を解決していく力の獲得にもつながると考えられます。

④学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



## 生徒たちを「優しさ」と「強さ」 を兼ね備えた「愛しい」人に

令和3年度に策定された「焼津市教育大綱」では、これからの時代をたくましく、しなやかに生き、自分らしい人生を輝かせていくため、下枠のような「優しさと強さを兼ね備えた愛しい人」へと成長することを目標としています。

- つまづいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く立ち向かう「たくましい強さ」をもった人。
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらをよい経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」をもった人。
- 他者の立場を理解し認め、他者の考えを受け入れられる優しさをもった人。他者との協調や協働を大切に、和の心をもった人。

生徒たち一人一人が「優しく、強く、愛しい人」に育っていくためには、つまづきや失敗の経験がとても大切になります。たとえ乗り越えられなくても、挑戦した経験があってこそ、真の強さや優しさを身に付けることができると思います。

下の表は教育大綱に関わる質問項目についてまとめたものです。

質 問 事 項	昨年度との比較
① 自分にはよいところがあると思いますか	+0.7
② 人が困っているときは、進んで助けていますか	-0.7
③ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	+1.4
④ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	+0.5

この項目は「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の合計が全国と比べて大きな差は見られませんが、昨年度との比較において、「① 自分にはよいところがある」は+0.7P、「② 人が困っているときは、進んで助けている」は-0.7P、「③ 人の役に立つ人間になりたいと思う」+1.4P、「④ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」+0.5Pと、3つの項目で伸びています。

これは、各学校で教育大綱の理念を柱に学校教育目標や重点目標を立て、教職員が「子供たちが自ら判断し、自ら動き出すような意図した働きかけ」を積み上げてきていることが、成果として表れ始めたと考えられます。なお、本年度の焼津市の学校教育の重点は「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」です。

### ◇ かわいい子には旅をさせよ ◇

学校では、「生徒の言動を決定づけたり、制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても生徒が自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導」を積み重ねるよう努めます。

ご家庭では、お子さんが様々な経験ができるよう、支えてほしいと思います。たとえば、それがお子さんにとって苦勞であっても、手や口を出すことを控え、温かく見守りながら励ましてあげてください。合い言葉は、「**かわいい子には、旅をさせよ**」です。

焼津市教育委員会  
教育センターみらい  
6 3 1 - 4 8 1 1

